

特別史跡熊本城跡保存活用計画

平成 30 年（2018）3 月

熊 本 市



▲南東から (H23. 4月撮影)



▲南東から (H29.12月撮影)

序 文

特別史跡熊本城跡は、1933 年（昭和 8）には城域が史跡に、宇土櫓等 13 の建造物が国宝に指定されており、早くから文化財としての価値が認識されていました。現代においても本市の歴史文化の象徴であり、市民だけでなく多くの観光客の皆様にも親しまれる史跡です。

史跡指定後、昭和 30 年代から 50 年代にかけて大小天守（天守閣）等が再建されるとともに公共施設や教育施設をはじめ、民間の施設が多く建設されるなど熊本城周辺の状況は大きく変化していきました。このような変化に対応し、史跡を確実に後世へと継承していくため、昭和 57 年度に「特別史跡熊本城跡保存管理計画」を策定し、以後この保存管理計画に基づいた保存・管理、整備等を行ってきました。

しかし、前回の保存管理計画策定から 30 年以上の時間が経過し、熊本城跡を取巻く環境も変化する中で、計画改訂の必要性が生じてきました。このため、平成 23 年度より特別史跡熊本城跡保存活用委員会・計画策定部会を設置し、改訂作業を進めてまいりました。

そのような中、平成 28 年 4 月 14 日、16 日に「平成 28 年（2016 年）熊本地震」が発生し、本市でも多くの人的被害や家屋の倒壊、交通・ライフラインの寸断、商業・農業・観光業等の経済活動にも甚大な被害を受けました。熊本城跡においても史跡範囲全体に及ぶ、これまでに経験したことのない被害を受け、その復旧には長い時間を要します。

今後の復旧に向け、今回改訂する本計画を上位計画として、復旧にかかる具体的な施策及び取組みを体系的に定めた「熊本城復旧基本計画」を策定いたします。復旧基本計画の期間を 20 年と設定し、熊本城跡の本質的価値を確実に保存するとともに、効率的・計画的な復旧と戦略的な公開・活用を進め、100 年先の将来を見据えた復旧復元に取り組んでまいります。

最後に、本計画の改訂にあたりご指導ご助言をいただいた策定委員の皆様方をはじめ、文化庁、熊本県教育委員会、地域住民の皆様、そのほか多くの関係者の皆様に対し深く感謝申し上げます。

平成 30 年 3 月

熊本市長 大西 一史

例 言

1. 本書は熊本県熊本市に所在する特別史跡熊本城跡の保存活用計画書である。
2. 本計画は、昭和 57 年（1982）に策定した「特別史跡熊本城跡保存管理計画」を「特別史跡熊本城跡保存活用計画」として改訂するものである。
3. 本計画は、特別史跡熊本城跡の管理者等である熊本市が主体となって作成し、各関係者で共有する指針とするものである。平成 23 年度から改訂事業に着手し、平成 29 年度までの 7 カ年にわたり実施した（平成 24 ～ 25、27 ～ 29 年度は国庫補助事業として実施）。
4. 本計画は、平成 23 年度に熊本市において設置した「特別史跡熊本城跡保存活用委員会・計画策定部会」における計画内容の協議・検討によりまとめられたものであり、地域住民や各関係者、熊本県教育委員会への説明・協議、文化庁文化財部記念物課の指導助言を踏まえ、熊本市が改訂を行った。
5. 本計画の改訂にかかる事務は、熊本市経済観光局文化・スポーツ交流部文化振興課が担当し、関連業務の一部を株式会社九州文化財研究所に委託した。
6. 「平成 28 年（2016 年）熊本地震」による記載内容への影響について
本計画は、特別史跡熊本城跡の将来にわたる保存活用についての基本方針を定めるものであり、熊本城跡の本質的・普遍的な価値に基づいて記載している。但し、熊本地震に伴い基本方針等に影響がある箇所については、その影響を踏まえた記載としている。
また、下記の章を追加した。
 - ・【各論】「第 4 章 保存管理」「第 11 節 防災計画」
 - ・【各論】『追章「平成 28 年（2016 年）熊本地震」による被害の概要』

目 次

巻 頭 図 版

序 文

例 言

【総 論】

第 1 章 保存活用計画の沿革と目的

第 1 節	計画改訂の沿革	1
第 2 節	計画改訂の目的	1
第 3 節	計画改訂の体制と経過	2
1	部会の設置	2
2	部会の開催状況	4
第 4 節	関係法令・計画等	6
1	関係法令	6
2	関係計画等	6
第 5 節	計画期間及び見直しと進行管理	7
1	計画期間及び見直し	7
2	進行管理	8

第 2 章 熊本市の概要

第 1 節	地理的特性	9
第 2 節	社会的特性	9
第 3 節	歴史的特性	10
1	古代～中世	10
2	近世	10
3	近代	11

第 3 章 特別史跡熊本城跡の概要

第 1 節	特別史跡熊本城跡の概要	12
1	熊本城跡の位置	12
2	熊本城跡の歴史	13
3	熊本城の成立と位置付け	14
4	旧城域について（絵図に見る熊本城惣構）	17
5	熊本城に関する資料	22

第2節	特別史跡熊本城跡の指定の経緯と理由	24
1	指定の経緯	24
2	管理団体指定の経緯	37
3	土地の所有・利用状況	40
第3節	特別史跡熊本城跡の現況	41
1	歴史的調査（発掘調査の成果）	41
2	城郭遺構の現況	42
3	植生状況	46
4	周辺の社会環境	49
第4節	特別史跡熊本城跡の本質的価値	52
1	指定理由	52
2	熊本城の特徴	52

【各 論】

第4章 保存管理

第1節	保存管理の基本方針	56
1	対象範囲	56
2	基本方針	57
第2節	保存管理の方法	58
1	地区区分の設定	58
2	地区ごとの整理	59
第3節	各地区の保存管理方針	94
第4節	構成要素の地区分布及び構成要素ごとの保存管理の方針	98
第5節	建造物の保存管理	104
1	旧城域内の歴史的建造物	104
2	建造物の修理履歴の概要	109
3	建造物の保存管理	109
第6節	緑の保存管理	111
1	基本方針	111
2	緑の保存管理の考え方	112
3	管理の手法等	115
第7節	調査研究と担い手育成	115
1	調査研究	115
2	担い手育成	115
第8節	現状変更等の取扱い	116
1	法令等による規定	116

2	現状変更等の取扱基準	117
3	その他（現状変更等を伴う諸行事の取扱基準）	121
第9節	追加指定	125
1	追加指定（指定区域拡大）の想定範囲	125
2	基本方針と今後の計画	126
第10節	公有化	127
1	土地利用の現況	127
2	公有化によらない史跡の保存と活用	128
3	公有化の基本方針	128
4	古城地区の公有化状況	129
第11節	防災計画	131
1	防災上の課題	131
2	防災計画の基本的な考え方	132
3	体制整備	134

第5章 活用・整備

第1節	活用	135
1	活用の現状と課題	135
2	活用の方針	136
3	活用の方法	136
第2節	整備	139
1	整備の現状と課題	139
2	整備方針	141
3	地区ごとの整備方針	142
4	整備の基準時期	143
5	整備の方法	143

第6章 運営・体制の整備

第1節	運営・体制の現状と課題	151
1	運営・体制の現状	151
2	課題	151
第2節	基本方針	152
1	総合的な運営体制の構築	152
2	庁内の関係部局との情報共有	152
3	市民参画と協働の推進	152

追章 「平成 28 年（2016 年）熊本地震」による被害の概要

第 1 節 被災状況の概要	153
第 2 節 被災履歴	155
第 3 節 被災の記憶等の継承や調査研究等の情報発信	155

巻末資料

資料 1 熊本城の管理に関する取扱要領	
資料 2 特別史跡熊本城跡の破損と修理履歴	
資料 3 熊本城消防設備リスト	
資料 4 熊本城消防計画	
資料 5 整備等を行ってきた組織及び熊本城に関する委員会、答申・報告書等	

挿入図版一覧

図 1	関係計画図	7
図 2	熊本城跡位置図	12
図 3	昭和 8 年指定範囲図	25
図 4	昭和 15 年追加指定範囲図	26
図 5	昭和 27 年追加指定範囲図	28
図 6	昭和 30 年追加指定範囲図	29
図 7	昭和 37 年一部指定解除範囲図	31
図 8	昭和 58 年追加指定ならびに一部指定解除範囲図	32
図 9	昭和 58 年の指定範囲図	33
図 10	平成 17 年追加指定範囲図	34
図 11	平成 29 年度現在の指定範囲図	35
図 12	昭和 26 年管理団体指定範囲図	37
図 13	旧城域内土地所有者区分図	40
図 14	旧城域調査地点一覧	41
図 15	重要文化財建造物位置図	43
図 16	石垣配置図 全体図	44
図 17	石垣配置図（三の丸・二の丸西側）	44
図 18	石垣配置図（本丸・二の丸・千葉城）	45
図 19	石垣配置図（本丸南側・古城地区）	45
図 20	熊本城樹木本数等調査図	47
図 21	都市計画図（平成 30 年 3 月 31 日現在）	49
図 22	熊本市景観計画における区域図	50
図 23	熊本市緑の基本計画における区域図	51
図 24	熊本城図（永青文庫蔵）	56
図 25	保存活用計画策定対象区域図	57
図 26	策定範囲地区区分図	58
図 27	本丸地区航空写真	60
図 28	本丸地区建造物位置図	67
図 29	二の丸地区航空写真	68
図 30	二の丸地区建造物位置図	72
図 31	三の丸地区航空写真	73
図 32	三の丸地区建造物位置図	79
図 33	古城地区航空写真	80
図 34	古城地区建造物位置図	86

図 35	千葉城地区航空写真	87
図 36	千葉城地区建造物位置図	91
図 37	新町地区航空写真	92
図 38	視点場設定位置図	114
図 39	現状変更等手続きフロー図	124
図 40	史跡拡大計画図（平成 15 年度）	125
図 41	土地利用の状況（平成 29 年 3 月 31 日現在）	127
図 42	公有化計画図	129
図 43	連絡体制図	134
図 44	周辺施設等との連携イメージ	138
図 45	石垣修理箇所（現代）	139
図 46	案内板分布図	145
図 47	説明板分布図	146
図 48	便益・管理施設位置図	147
図 49	ベンチ分布図	147
図 50	トイレ分布図	148
図 51	水飲み場分布図	148
図 52	車止め分布図	149
図 53	防護柵分布図	149
図 54	広場及び修景施設	150
図 55	特別史跡熊本城跡の管理に関する取扱い要領別図	巻末資料